

舟山

発行者
幸田町立南部中学校
近藤 克幸
第131号



東京駅にて（修学旅行）

一学期末テストを終え、運動部は夏の大会に向け、日々練習に励んでいます。

さて、五月末には二年生は多くの事業所にご協力いただき職場体験学習を行いました。六月には三年生が修学旅行に出かけ、一年生は、里山セミナーに参加して森林の環境について学びました。普段ではなかなかできない貴重な体験を通して、礼儀、人とのつながり、森林の大切さなど多くのことを学びました。

修学旅行

三年 横井 瑛菜

修学旅行のクラス別で行った浅草や東京スカイツリーでは、歴史的な建物やスカイツリーができるまでの過程なども見ることができて新しい知識が増えてよかったです。どこへ行くにも新鮮な気持ちで行けました。デイズニースーは雨が降って寒かったけれど、友達とアトラクションに乗ったり、待ち時間を話をしたりして楽しく回ることができていい思い出になりました。

国会議事堂や班別で行った農林水産省では、普段教科書の写真でしか見られないところに行けて、その場の雰囲気を感じられたことがとてもためになったし、楽しかったです。この三日間を通して、まだ直さないといけないところもありますが、学年、学級の絆が深まったように思います。ここで得た経験を今後の生活に生かしていきたいです。



農林水産省にて

キャリア講話を通して

三年 小林 希羽

修学旅行の二日目にオリピックに出場した岡澤セオン選手から直接お話を聞くことができました。

セオン選手の話の中で心に残ったことは、「本気でやる」ということです。本気でやってみないと自分に合うかどうかもわからないし、全力でやり続けることで才能が開くかもしれないということでした。自分は興味ないことはなかなかやる気ができません。でも、これからは目の前にすることに全力でやって後悔しないようにしたいと思いました。もう一つは無理と決めつけないことです。最初から無理と諦めていたら無理になる。自分で無理とだど教えてもらいました。

この講話で学んだことはこれからの生活ですぐに実践できることばかりでした。苦手なことや嫌なことがあっても本気で挑戦して乗り越えていきたいです。



岡澤選手の話聞く生徒

子どもはいつだって職場体験

二年 山田 愛莉

私は、五月二十八日から三日間、豊坂保育園へ職場体験に行きました。この三日間で大きな達成感を得ることができ、改めて、挨拶や返事の大切さを学ぶことができました。初日は緊張していましたが、二日目、三日目と日が進むにつれ、クラスの子ともたちと交流を深めることができました。「一緒に「飯食、べよう！」と子どもたちから声をかけてくれるなどうれしいことがたくさんありました。特にうれしかったことは、子どもの寝かし付けがうまくできたことです。三日目にしてようやくできたので、この三日間頑張ったよかったという思いと達成感を得ることができました。

この三日間の経験を生かし、これからも挨拶を心がけたり、いろいろなことに挑戦したりしていきたいです。



園児と遊ぶ（職場体験）

職場体験で心に残ったこと

二年 加藤 心寧

私は、幸田町立図書館で職場体験学習を行わせていただきました。心に残ったことは、お客様に寄り添った接客です。図書館には決まった人だけが来るわけはありません。子どもから大人までさまざまです。その人たちに合った接し方をされていることが素敵だなと思いました。具体的には、子どもに向けて話すときは声のトーンや話す速さを変えて優しく話す姿がありました。働く人にとって、接する相手のことを考えて行動することが大切だということを学びました。これからの生活では、改めて礼儀を大切にしていきます。目線を合わせて挨拶をしたり、敬語を使ったりすることで、接したかたがたが笑顔になったり穏やかな気持ちになったりできるようなかかわり方をしていきます。日常生活から見つめ直していきたいです。



本を整頓する生徒（職場体験）

自然豊かな西山の森

一年 中野 愛梨

学年みんなで西山の森に行きました。歩いていく途中に、畑仕事や散歩をしている地域の人が笑顔で優しく、「こんにちは」「いつてらっしゃい」と声をかけてくれました。気持ちが明るくなって、私も挨拶を返すことができ、これから地域の人のつながりを大切にしたいと思いました。



西山の森で勢ぞろい（一年生）

西山の森に着くと、幸田町を見下ろすことができ、とてもきれいな景色でした。幸田町は自然豊かでよいところだと改めて思いました。遊具は、スリル満点のターザンロープやそりなどがあり、自然と親しみ、楽しむことができました。他にもクラスのみんなと大縄などをして遊び、仲を深めることができました。思い出に残る最高の一日になりました。

プール掃除

一年 市川 零

六月十八日に、暑い中でしたが、プール掃除をしました。全校がきれいなプールに入れるように、一・二年生で交代しながら、力を合わせて掃除をしました。



プール底を磨く一年生

プール内やプールサイドには、草や木落ち葉などがたくさんありました。一年近く使わないだけで、こんなに汚れてしまったんだなと思いました。私は排水溝に詰まっていた、草や葉っぱ、松の小枝を丁寧に拾い集めました。そうすると、排水溝の詰まりが解消されて勢いよく水が流れました。がんばってきれいにしたので、見ていてとても気持ちがよかったです。

とても暑い日で疲れましたが、みんなでするプールを、みんなできれいにでき、とても達成感がありました。

重低音

一年 岡田 咲希

「ドンドン」太鼓から伝わる振動と音が足元から体全体に響きわたりました。そして、全員の音がひとつになると、空気が揺れる感覚を覚えました。響く音に包まれて、宙に浮けるのではないか、そんな気さえしました。小学校の授業で一度触ったときには、経験できなかったことでした。バチを上から下にまっすぐ振り下ろす難しさもそのひとつで、残り二回の交流会でできるようになっていきました。太鼓を叩くのが楽しくて、時間が過ぎるのがあっという間でした。終わった後もしばらく練習曲が頭の中に流れ続けていました。この交流会のおかげで和太鼓が身近に感じられるようになりました。次回の交流会では、先生がたの演奏が聴けるので、すごく楽しみです。



和太鼓（第2回交流会）